

令和８年度 第Ⅰ回学校運営協議会

議 事 録

日時 令和８年６月１８日（木）14:00～16:00

場所 岡山県立勝間田高等学校 記念館３階会議室
（委員１５名のうち、１３名が出席）

Ⅰ 校長挨拶（任命書交付）

（Ⅰ）学校運営協議会について

- 岡山県立学校における学校運営協議会の設置について
- 岡山県立勝間田高等学校における運営協議会について
- 委員の委嘱

（Ⅱ）学校の状況について

- 令和８年度各系列（コース）在籍数
- 令和８年度学校経営計画書

Ⅱ 出席者自己紹介

Ⅲ 会長選出

水嶋 淳治 氏 で承認

Ⅳ 会長挨拶

Ⅴ 報告・協議

- （Ⅰ）令和７年度の教育活動について
- （Ⅱ）令和７年度学校評価書及び令和８年度学校経営計画書等について
- （Ⅲ）令和８年度主な事業と予算について
- （Ⅳ）令和９年度入学生に対する「スクールポリシー」について
- （Ⅴ）令和９年度教科書選定の観点について
- （Ⅵ）令和８年度の主な行事について

Ⅵ 質疑・応答

質問なし

～ １０分休憩 ～

Ⅶ 意見交換（グループ協議）

テーマ：「中学生や保護者に選ばれる高校となるために」

※出席者が３グループに分かれてグループ協議を実施。協議後、全体で意見を共有。

Ⅰ 私たちが考える「勝間田高校の強み」

【Ａグループ】

勝間田高校は専門系列のある総合学科なので、各系列の連携の可能性があることが一番強い

ではないか。また、勝央町や地域からの支援を受けやすいという点が強みだと思う。

【B グループ】

強みについては A グループと同じ。

【C グループ】

勝間田高校の強みは、体験型の学校で専門性が強い、資格が取れる、技術が身に付くということろだと思う。地域や勝央町等との連携や支援があり、地域の応援団の存在は他にはない強みではないか。また、先生が丁寧に指導しているところも強みではないか。

2 私たちが考える「課題」

【A グループ】

各系列の連携ができる可能性はあるが、まだしっかり連携ができていないのではないかな。交通の便が悪いということも課題であり、遠方からの受入体制が整っていない。系列卒業後の出口がわかりにくいという意見も出た。また、系列の名称を変えてみるのもいいのではないかな。

【B グループ】

明確なキャリアパスがない。勝間田高校に行ったらこの大学に入れるとか、こういうところに就職できるということをもっと明確にする必要がある。また、県南ではほとんどの人が知らないため、知ってもらう必要がある。さらに、県南から来てもらいたくても、寮がない。そうしたことを改善した方がよい。

【C グループ】

通学の際の公共交通機関が少ない。地域人口の減少や生徒数の減少による活動内容の制限。県南や県外からの生徒の受入施設がない。

3 「選ばれる高校」になるための具体策

(1) 学校が取り組むこと

【A グループ】

出張オープンスクールのような形でいろいろな場所に出て行く。系列連携などは学校で取り組めるのではないかな。資格取得の種類を増やしたり、『課題研究および総合的な探究の時間成果発表会』をもっと一般に向けて PR したりしてはどうか。

【B グループ】

時代にあった系列や授業内容に変えていくことが必要ではないかな。例えば、自動車系列では EV に特化するとか、もう少しフィジカル AI について考えるなど。今の時代に合ったことが学べるようなことを考えていく必要があるのではないかな。

【C グループ】

勝央工業団地とのさらなる連携。地元の方々にも勝間田高校について知っていただくため、商店街等にもチラシを持って行く。中学生へ向けた情報発信としては、高校生目線での SNS 発信をしていく。

(2) 地域等ができること

【A グループ】

企業との連携等を私たちが積極的に進める。また、部活動の地域展開なども勝央町ならではの取組として一緒にできるのではないかな。私たちのグループの一押しアクションは、系列の呼び名を変えて、再編ということをしっかり考えて、PR するといったのではないかなという提案が出た。

【B グループ】

各系列で専門性を生かした就職先がしっかりあるという環境をつくる必要があるのではないかな。

【C グループ】

地元商工会との連携をもっと行う必要があるのではないか。一番怖いのは、地域の無関心ではないかという意見が出た。

8 その他

(1) 第2回学校運営協議会について 10月下旬～11月上旬で調整

(2) その他